明治三十七年五月七日第三種郵便物認可

明治の女子

第九巻第二號

目次

◎眞情（一）……小此木松子
◎聖盃（四）……風江
◎純潔（八）……安井哲子
◎神を見得る人（一〇）……マグドナルド
◎受洗の後（一四）……廣岡淺子
◎耶蘇の說きし敎（一九）……柏井園
◎人の惡癖を矯めし友の經驗（二三）……小橋三四子
◎會の消息（二七）
△萬國學生祈禱日趣意書　△日本基督敎女子青年會　△東京基督敎女子青年會

日本基督教女子青年會發行

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女子寄宿舍

基督教女子青年會は

小石川區水道町二十八番地

牛込區納戸町四十五番地

の二ヶ所に寄宿舍を設け女學生諸子の爲に及ぶ限りのお世話を致して居ります

右の寄宿舍は大西絹子、門倉ふじ子の兩氏が親しく監督して居ります。東京に家庭又は適當の保護者のない方々をして家庭に於けると同様に勉強の出來る様にするのが青年會寄宿舍の希望であります

入塾希望の御方は願書を監督者大西絹子氏或は門倉ふじ子氏に宛てゝお送り下さい。

尚同舍は一時の宿泊も許しますから、講習等の爲に御出京の方々にも宿泊の便宜を計る事が出來ます。

寄宿舍委員長　今西糸子

明治の女子

一、「明治の女子」は日本基督教女子青年會中央委員が發行する雜誌也。

一、「明治の女子」は一年分郵税共金五拾錢、一部郵税共金五錢とす。

一、日本基督教女子青年會は女子の衞生、社交、智識、靈性上の發達を圖るための團體也。

一、日本基督教女子青年會中央委員左の如し。

委員長　井深花子
副委員長　岡見慶子
記録書記　三谷民子
會計　井上友子
萬國基督教女子青年會同盟委員 萬國學生基督教同盟會委員　河井道子

東京在住委員
エ、ピーウエスト　宮川すみ子
平野濱子　鈴木歌子
中島小春　サラ、エリス
フィイシャー　小此木まつ子

地方在住委員
大阪　ケー、ツリスツラム　京都　佐伯小糸
京都　デーントン　名古屋　ウインウイルソン
廣島　エス、ピー、ゲインス　大阪　荒木幸子
函館　エム、ブラウンロー

日本基督教女子青年會幹事　エー、シー、マクドナルド
同副幹事　エム、エル、マシウ
同　ツイ、アアル、ソトネ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

サー、キアラハツド

◁本文四頁參照▷

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

明治の女子 第九巻第二號 (明治四十五年二月一日)

眞情

小此木松子

此頃、久しく手馴れた古い文箱を開けて、あれ此れと昔のものなど讀むで居りました中に、一つ取り分けて私の心を動かした古いカードがありました。是れは、曾て、某教會で私が受洗致しました折に、親しい友から祝つて寄越したもので、名高いラフエルの聖母を刷つた其カードの裏には、次の様な事が書いてありました。「私は今朝、大橋の上で、憐れな乞食の父子を見ました。一月の風の吹き荒む川岸で此二人の人達がお互を勞はり合つて居る其様を見て私は、本とうに神様の様な人達だと思つて心に拜むて通りました。窮乏の境遇に居て自分を忘れる事の出來る人は有難いと思ひました。愛の發動、眞情の流露ほど人を感じさせるものはありませむ。あなたが、神様の道にお入りなされたと聞いて私は深く御悦びいたします。神の道に入つた人であつて始めて世の中に生き、人の眞情の美くしさも、心から感ずる事が出來るのですから。」と云ふ様な事でした。

まことに此友の言の通り、世に眞心ほど、人を動かす力の籠つたものはありますまい。世に敗殘の身である乞食の様なものでも、唯一片の眞心の發動に依ては、行路の人の足を留めて、心の中に拜ましめる事さへ出來ます。又罪人として捕へられ、惡人として嫌惡せられて居る者でも、倘一朝本心に立かへつて、眞の心の輝きを示す時には、其處に大いなる人格と、崇高なる識見とを表はします。是等は皆、人々各個の中に存する神性の發動とも申しませうか。其神性の前には、如何なる威力も權勢も到底、頭を擧げて拮抗する事は出來ませむ。

昔から、此自然に湧き出る人情の泉を汲むで歌ひ出た歌は數限りも無く殘つて居ります。中にも彼の詩篇の如きは、殆ど世界の文界に比べ物の無いといはれる程、眞率な、絶え難い切那の眞情を吐露した

ものです有名な第二十三篇を始め凡てデウィドの牧歌の如き、覺束ない譯書によつて讀むでさへに味ひ盡せぬ情趣が汲まれます、此れを我國の文學に見ても、古くは萬葉以降の古歌に、或は卑俗の小謠等に飾らぬ情の迸つて居るのを、見るのは難しい事ではありませむ、又遠く古代の歌に求める迄も無く、是れを子供の生活に見て容易く發見する事が出來ませう。まことに修飾の無い子供の生活程美はしく、自然に、たとへば南國に咲く花などの樣に香ばしいものはありませむ。其言ふ所、爲す所悉く眞情の流露てあつて、何の人工をも加へず、所謂俯仰天地に恥ぢざるものです、主、基督が「汝等子供の如くなれ」と仰せられて、幼い者を其胸に抱いて愛しまれたのは、まことに其天眞の性を貴しとせられたものでせう。此樣に美はしい小兒の生涯から青年期に進み、次て成年ともなれば、內外の刺戟關係相俟つて追々に天然を打破し、修飾を加へ、甚しい例に至つては餘程な攻擊、變化の起つた折々てなければ、昔ながらの人情の發動を見る事が無いといふ程にも墮落して來る者があります、死に瀕して始めて善心に立返つたといふ樣な事は昔物語に俟つ迄も無く、

今日瀕々として起りつゝある事だらうと思はれます此樣に、虛僞と、口實と、便宜とで上へ上へと塗り汚され、殆ど、もとの人らしい色も見えぬ迄に、固め上げられた人間は、丁度下手に塗られた婦人の顏の樣なとも見られませうか、美くしい肉の色、自然が與へた健康の生氣は全く蔽ひ隱されて、殘るところは、人工に成つた粉の色彩ばかり、これでは眞の活きた、動いてゐる、生の美を何所に求める事も出來ませむ、人の精神が斯うなり果てては、社會も全く其生氣を失つて、一切の温情は涸渇して終ひませう。此冷たい荒むだ有樣が、年を追ふて著しくなつたと見た先哲は、早く前世紀に於て、『自然に歸れ』と叫むで居ります。さうして、宗敎に、社會制度に文學に、此舊態破壞の聲が益々高くなつて來た其絕頂に建設せられたのが現世紀であるところから見ますれば、今の世に破壞の響きの喧しいのも敢て不思議は無いかも知れませむ。

然し、在來の惡風を破り、新たなる生氣を以ての社會に活動しやうとして眞面目なる目的の下に止むを得ず破壞を事として居る人が現今どれ程ありませうか、一種の新奇を悅び、舊きに飽いて進步を衒ふ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

人が多くは無いでせうか。實に此節ほど、言論の好かれる、議論の蔓る、理屈の多い世の中は今迄無かつた事だらふと思ひます、稍人心を得て着實の度に進まふとする事は、忽ちにして世に忘れられ、捨てて顧られず、更に新たなるもの珍らしき者の悦ばれるのが、此頃の有様です。他人を批難し、批評するを以て事とするものもあり、而も決して研究的な、眞面目な態度に依る人ばかりでもありませむ。其結果、事々物々の變轉の速かな割合に、實質に於て、社會の内容に於いて其れ程の進歩は認められて居りませむ。是れは、外、徒らに新奇に馳せて、内、盲從に安んじて居る爲ではありますまいか。口に新論を唱ふる人にして果してどれ程其所論に精神を注いで居りませうか、實行に於ては、多く無責任な盲從に終つて居る事が少くは無いと思はれます。是れは、現代の樣な社會の性質上、人は唯、一時の勇にはやつて、永續の潜勢力を缺く爲であつて、此有樣に續くならば、世上の改革は遂に行はれず、却つて益々浮華輕跳に傾きませう、彼の何々論、何々説といふものも唯一時の誇りに過ぎずして永久に葬られて終ふのでは、切角起つた智識界の活動も何の人生を益する事なくして終ります。

爾來、智的の要求も、もとはと言へば、人の本原たる靈の生活を高めむが爲に起つたものに過ぎませむ、それ故に靈の要求に離れた智能は其眞の價値を失ふものと、いはねばなりませむ。まことに如何なる智的の活動と言つても、それに依て、人の靈性の存在を到底蔽ひ得可きでは無く、兩々相俟つて共に〳〵高上す可きものです凡そ人生に何が最幸福かと言ふと智と靈との相伴つた發達を目撃する程、人の一生に愉快な事はありますまい、學問上に於て、信賴す可き長上が、其精神的生活に於て亦一頭地をぬいた見識と實行とを具て居られるのを見る程、一種の崇高美を感ずる事はありませむ、人に於て此の如くならば況して是れを我等の主、基督に求むる時に、其最完全なる發達と調和とを認める事が出來るのは最當然なる事と思ひます。

此意味に於て、智能の發展は決して靈性の退歩を示すものではありませむ。又理性の發達は必ずしも眞情の流露を妨げるものではありませむ。日光に浴し、生を樂しむの情は、人間あつて以來、變らざる潮流で、現代の如き、生活難の時世に當つて特に此

心を發揮せらる可き必要あるヿを感じます。唯此れに依つてのみ、人生は和らぎ温まつて居るのではありますまいか。そうして其依つて來る源泉は、神にあり、基督にある事は忘れる事の出來ぬ事實です。

聖盃（上）

口繪參照

風江生

巻頭に掲げてある古への武士の畫は、詩人テニスンが身血を注いで歌つた英國アアサア王の武士サアガラハドを描いたものである、彼は心清く、武勇優れ、武士の典型とも云はるべきものであつたが、千辛萬苦を嘗めて基督が最後の晩餐に用ゐられたと云ひ傳へられる黄金の盃の所在を探し出したと云ふ古い物語から來たのてある。

「我が利き劍は人の兜を刺し、
我が硬き槍は狙ひを過たず、
我が力は十人の力にあたる、
是れ我が心の潔きが故なり。」

此の潔き英雄は、高尚なる目的の爲めに、あらゆる敵と戰ひ、あらゆる誘惑に勝ち、常に「あゝ神の義にして忠なる武士よ、駒を進めよ、賞與は近し」との聲を聞きつゝ勇しく突進したのである。

獨逸の文豪ワグネルも之と同じ物語を材料にして宗教上の趣味深き劇を作つて居る。散文に書き直すには寧ろ後者の方が面白からうと思ひ其の大意を左に擧ぐ。

＊　＊　＊　＊

聖書には基督が最後の晩餐のときに、葡萄酒を盛つた盃を取つて之を祝謝し、弟子たちに與へて飲ませたまふたことが書いてある。其の盃は後に、基督の爲めに墓を備へたアリマタヤのヨセフといふ人の手に入り、彼は基督が十字架に懸けられたとき其の脇腹から流れ出る血の滴を此の盃に受けたと云ふ物語が傳へられる。

かくて此の盃はすべての傷や痛を癒す不思議な力を存することゝなつた。之を所有するものには、全き平和が與へられ、只之を見たばかりでも地上で最も大いなる特權が與へられる。然し其の後此の聖盃は神の力で影を隱し、最も高尚で、己を犧牲にする精神に富んだものが、熱心に之を探し求むると

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

きは、時たま現はれることがあつた。故に之を尋ねるものは、何よりも先きに自身の卑しい性質に勝ち總ての利己的な慾望を棄てねばならぬのであるから實に非常な難事業となつたのである。

英國アアサア王の圓卓と稱せられた武士たちが、此の聖盃を探つたといふ美しい昔譚もある。人々の心に感興を起こし刺激を與へた此の幻象は、僅かに其のうちの二三のものしか見なかつたのであるが、彼等が之を探す爲めに何れだけ高尙になり、立派になつたか知れない、其の頃はまだ此の聖盃は定つた處に置かれなかつた、其れて人々は何處を何う探して好いのか解らなかつた。

或る國にチチユレルと云ふ勇敢な武士があつた。彼も此の聖盃を尋ねる爲めに、全生涯を獻げることとを決心し、其の愛子をも伴ふて出かけた。其の子はまだ幼いが、往く〳〵は武士にならうといふ心懸けのものであつた。彼等は神の恩寵によつて必ず其の目的が達せられると堅く信じて居た。此の小團體は長い間荒野を旅行し、谷また谷を渉り、奇嶇たる岩〱の山路を通つて進んだ、彼等は途すがら出逢つた色々の人を助け、すべて世俗的の高漫心を抛ち、只だ親切と人道との爲めに骨を折つた。また彼等は夜も朝も聖盃を得る爲めに神に祈り續けた。

旅路の日數重なるにつけ、身は塵埃に塗みれ、疲勞も次第に出て來た。然し少しも氣を挫かず、常に勇を皷して進み進んだ、或る日暮れかゝつた頃茂つた森のうちに足を止め、一同此に一夜を明すこととした、彼等は毎日朝から晩まで旅行し、食物も餘り多く取らず、暫時休めば直ぐ何ものかが彼等を目的の地に急き立てるやうに見えた。

翌朝早くチチユレルは起き上つて一行を起した。誰一人呟くものもなく直ちに起き上つて出かけた。不思議なことには次第〳〵に深く進み行くけれど、毫も疲勞を覺えない。休息と滿足との靈妙な感覺が彼等の心に滿ちて居た、かくて彼等は到頭聖盃の近くまで來たことを覺り、喜び極つて感謝した。

彼等が跪いて居るときに大いなる光が圍り照らし「起きよ、汝等人類のうちにて、祝福されしものよ汝等の勞力は報いられたり。汝等をして聖盃を守護せしむべし。サルヴット山と呼ばるゝ山近きにあり汝等其の頂上に神殿を建てざる可らず、かくて汝等は聖盃の武士と稱へらるべし」と云ふ聲が聞えた

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

彼等が面を擧げると光は消えたが、其の面には此光榮ある任務を擔ふの喜びに輝いて居た。

翌朝彼等は其の名ざゝれし山に行いて神殿を建て始めた、世界中の最も莊嚴な神殿だと取り沙汰せられるに至つた、程なく落成して儼かな獻堂式を擧げたとき、光が其の堂に映して聖壇のあたりは燃ゆるやうに見えた。何れも其の前に跪いて居る間に、チチュレルは壇の前に進んで幕を揚げた。彼等が日夜求め尋ねて居た聖盃は、其所に貴く美しく輝いて居た。

かくて彼等は此の聖盃を守護する神聖な任務に從事することを喜んで決心した。すべての目的や慾望を抛つて祭司の仲間に這入つた。そして彼等のうち傷ついたものとか病にかゝつたものがあれば、此の聖盃の圍りに燃えて居る不思議の火によつて直ちに癒された。

* * * *

チチュレルは久しい間其の任務を全うしたが、年老いたので其の子アムフォルタスが代つて聖盃の守護の長に命ぜられた。

其の頃此の神殿に詣でたいと望んだ武士は多かつた。然し全く潔く、且つ誠實な生活を送つて居るものでなければ、誰にも之を許されなかつた。之を拒まれたもののうちにクリングリルと云ふ有力なる魔術師があつた普通の遣り方では到底駄目だと見て取つた彼は、門番に賄賂を使つたり、或は樣々の卑劣手段を用ゐなどしたが成功しなかつた。茲に於て非常に立腹し、何とかして復讐をしてやらうといふ恐ろしい量見を起し、此の神殿を破滅せしむる爲めにあらゆる惡手段を試みた。其の一つとして同じ山の一方に美しい花園を設けた。其所には百花常に爛熳と咲き亂れ、美しい果實はみのり、それに妙なる音樂は絶えず奏でられ、婀娜しい舞姫は蝶の如くに舞ふて居るといふ有樣であつた。遙る〴〵聖盃を尋ねて來た武士のうちには、可惜此の手に乘せられて其の宿志を抛ち、樂園に迷ひ入るのも少なくなかつた。

アムフォルタスは此の惡手段を聞いて大いに憤り神聖な槍を取つて之を攻めかの魔術師を斃してくれやうと決心した。此の槍は聖盃に次いて大切なものであつた。即ち基督が十字架に懸けられたとき、其の脇腹を突いた槍であつて、之を持つて居るものは信仰に忠義を盡し、總ての敵に打ち勝つ力が與へら

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

れた。然しアムフォルタスは熱心ではあるが、まだ餘りに自分の力に頼み過ぐるところがあつた。敵を見つけ出す爲めに山の彼方に出かけた。すると彼は非常に疲れと渇きとを覺え、泉のほとりで休んだ。魔術師の詭計ありとは氣づかず、美しい果實を食ひ、泉の水を飲み、不用意にも其の涼しい草原で眠つて了つた。之と共に大事に握つて居た槍を打ちやつた。かくするうちに彼は己が脇腹が遽かに鋭く激しく痛み出したので目が覺めた。覺めて見ると何時の間にか傷を負ふて居た。起き上つて向ふを見ると、クリングソルは槍を奪ひ取つて之を打ち振りながら勝ち誇つて居る。

アムフォルタスは取り返しのつかぬ罪を犯し、かの槍が敵の手のうちにある間は何も爲すことが出來ぬことを覺り、耻辱と悲嘆とを深く且つ切に感じつゝ其所を去つた。神殿に歸つて痛切に己が過失を懺悔した。然し脇腹の痛みは毫も癒えなかつた。殊に嘗ては如何なる傷をも癒した聖盃の前に出ると、不思議にも、其の痛みは一層激しく增し加はるやうに感ぜられた。

毎日聖餐を守るときに、聖盃の蔽ひを取るのが彼の職分であつた。然るに其の前に出る每に苦痛がいや增すので、堪へ切れなくなつて、其の務めをすることを減ずるやうになつた。他の武士も之を心配して色々骨を折つて見たが、總て無効であつた。或る日彼が神殿で祈つて居るとき、聖盃のあたりに燦然たる光が輝いて、次の如き聲が聞えた。

憐みによりて與へん
吾が誠實なるものを。
汝、彼の來るを待つべし、
我が意志の行はるゝまで。……

アムフォルタスは此の意味を了解することが出來なかつた。然し少しは其の心が輕くなつた、遠からず傷の癒されることを信じ、彼も其の同志のものも喜んだ。

其の後久しい間何んの變りもなく、何うすることかと思ひながら、耐へ忍んで祈つゝ待つて居た。己が肉體の氣力を維持する爲めに努力し、日々沐浴して、鎭痛劑を塗つた。然し其の傷は少しも癒えなかつた。

談叢

純潔

安井哲子

吾々の心程不思議な者はありません。喜びに充ちて居れば此世界が實に樂しく見え、悲みに沈んで居れば同じ世界に憐を感じ、愉快に聞えた鳥の音さへ俄に悲哀の調子を帶び、美くしく眺めた花さへも無常を感ぜしむるやうになります。又心の暖かい時には周圍の人々が「なつかしく」見え、冷い時には「うるさく」感ぜらるゝのも之れと同理でありませう。試に吾心の持ち方を種々に變化して見ますれば定めて面白い實驗をなし得るであらうと思ひます。そこで此世界や周圍の人々の實際は假令どうであらうとも、吾心の持ち方で之れを善化し、美化し得るならば、吾々は如何に幸福な生活をなし得るでありませうか。

ところが此世界を美化し善化するといふ事は誰にでも出來るといふ譯にはまゐりません。美を感じ得る人にして初めて美に應じ、心の清き人にして初めて清さを感じ得るのであります。彼愛らしい天使の如き幼兒すらも、或種の人々には「うるさい」と感ぜられ、甚しきは虐待さへも敢てされるのであります。實に不思議な者は人の心で、恐るべき者も亦人の心であります。其故に吾々は吾心の塵を拂ひ、汚を拭うて明に善と美との世界を心の鏡に映したいものであります。「心の清き者は幸なり神を見る事を得べければなり」とは即此處で、實に意味深遠なる言葉であります。吾々は不完全なる人間でありますから、絶對に純潔なる事を得ませんけれども、而も若何等一點の僞りなき心を以て神の前に立ちました時には、明に心に神を見得るのは屢實驗する所であります。此時程吾々の清い時はなく、又此時程吾々の強い時は御座いません。人間の最無力な場合は己を僞り、他人を僞り、神に遠ざかつた時で、彼惡事を爲した人が、此廣い世界を思ひ狹めて、其朋友さへも恐れるのは即此處であります。

私は曾て誘惑の奴隷となつた人に接した事がありましたが、其不安の態度、落付かぬ心狀、吾罪を他人の前に辯護せんとする苦心、僞りに重ねるに僞り

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を以てする苦痛、實に憐れなる者でありました。此時に私に起つた感情は、何を苦しんで吾々不完全なる人類の前に己れの虚僞を現はさうと努むるのであらうかといふ事でありました。若し此人にして吾心を明に知りたまふ者が、吾背後に立ちたまふ事を認めました時には、苦痛を忍んで工夫した種々の虚僞は、何等の效力をも奏さなかつた事に心付くてありませう。人類より受くる非難は忍ぶ事が出來ますが、正しい神の判斷には到底堪ふる事が出來ません。故に先己れを僞らざる事は心を淸くする第一歩で、心を淸うする事は至善至正なる神を認むる唯一の方法であります。かくして淸い心を以て淸さを感じ得る時には、弱き者も之れがために立ち、貪しき者も之れがために其心を富まし、賤しき者も之れがために自然其心を貴うするやうになるのであります。

要するに此世界を美化し善化して最幸福愉快なる生活を樂しまうとするには、先此善美に感應し得る心を造らねばならず、之を造るには先最從順に最誠實に神の前に己れを現はさねばならず、かくして至善に接近し得れば、茲に初めて至善なる感化を得て、次第に純潔なる境に進む事が出來るのでありませう。純潔なる者は自然の結果として自ら威嚴があり、如何なる誘惑も之れを犯すの余地を見出す事が出來ません。從つて無意識に惡を制服し得るの力が出來、此世は實に安全な樂しい場處となつて、所謂善化し美化し終るのであります。然るに悲しいかな、吾々は未だ誘惑と奮鬪しつゝある時代で、戰はずして之れを善化するまでには、前途實に遠くあります。此域に達せんがために、私共は努力して心の鏡を磨きたいのであります。

枯野ににほふ水仙花
たが心にかなして見ん
霜雪深くみだるれば
いやまし淸くにほひゆく

雨江

講話

神を見得る人

マグドナルト

「心の清きものは幸なり。其人は神を見る事を得べければなり。」と馬太傳（第五章、第八節）に申してあります。此清いといふ事に就ては、種々な例もありませうが、一番よく此意味を表はして居ると思はれるのは、例へば、日の光の美くしく輝いて居る、日本の冬の景色などでせう。私が近頃、前橋に參りましてから、此神々しいと思はれる樣な美事に晴れた冬の日が續きましたが、其何ともいへぬ高い蒼天澄み切つた空氣の色、そこへ、豊かに、温かく光を投げて居る太陽、是等のものは皆揃つて或唯一つの事實を私に示して居るのだと感じました。即ち、吾々人間と自然、或は此大宇宙との間には、直接の關係同情がある。人間と自然物との間には何者も引裂く事の出來ない密接なる交渉のあるものだといふ事を悟りました。此樣に豊かな太陽を見、地上に投げらるゝ光を見るものは、態々、科學的研究による迄も無く、一見して直に、太陽が地上に及ぼす影響を觀察する事が出來ます。温氣を送り、光線を送つて、此地上を美化して居るのが、太陽であるといふ事は何人にも容易く實驗し得る事でせう。

是と殆ど同じ樣に、吾々の精神上の生活を考へてみますと、思ひ當る節々が澤山にあります、丁度、冬の空が、高く晴れて、空氣の澄むで居る時の樣に、私共の精神上の空氣が澄み渡つて居りましたならば、吾等の心の奧にあつて、光と熱とを常に與へらるゝ、神の存在をも明らかに認める事が出來ませう。殊に此意義に於て、神は太陽の地上を美化するか樣に私共の生涯を光に滿ちたものとなされます、此光此精神的の太陽が、認められた時に始めて、私共は新らしい生活に入つたと申す事が出來るのです。其時にして始めて「新たに造られたる者」といふ意義が明らかになつて來るのです。其時にはもはや誰に說明を乞ふ迄も無く、又神學の奧義に依つて研究する必要も無く、神の存在といふ事は、明かに吾々の心に意識が出來るのです。此境に進むだ者には、識

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

論も要らず、定義も要りませむ。唯「心の淸きものは幸なり、神を見る事を得可ければなり」といはれた言を繰り返し味ふ事が出來ます。

私が前橋に假寓して居ります間、幾朝となく早天に戶外に出ては、曉の山々を仰いで見ました。さうしては何時も、他の山々の上に高く聳えて、嚴かに立つて居る淺間を見たのですが、或朝には是等の山が、まるで見えて居ない事があります。其理由は決して山が無くなつたのではなくて、雲霧が立蔽ふて私の眼から隱して終つた爲なのです。それから、又、よく眼の達く者が見たならば、まだ〳〵澤山遠國の山々までも見えたのでせうが、いくらお天氣の日にでも、私には極近傍の山脈より見えませむでした。何故かといふに、私の視方の少ないが爲て、私に遠く廣く視るだけの力が無かつた爲です。然るに基督の仰せられた言葉には心の淸きものは神を見る事を得とあります。此御言はよく味ふて見ると實に深い意味が籠つて居るので、心さへに淸かつたならば、精神上の視力には決して限度が無い、何處までても見える。即ち神の存在をさへ認める事が出來ると云つてあります。神を見て、自ら其子であるといふ事の自覺が出來れば、凡そ世界の萬事を知り盡したものと言ふ事も出來ませう。即ち、子として父の權威と愛との下に神の道を踏むのが、人生の意義に他ならぬのです。

然らば基督のいはれた「心の淸きもの」とは何の樣なものか。先づ第一に考へられるのは、志の淸いもの、淸い正しい動機に依つて働らいて居るものといふ事です。如何なる志を以て働き、學び、生活して居るか、其志を公明正大に世間に發表して恥ぢるところが無いか、確に誇るに足る可き動機に依つて仕事をして居るか、どうかといふ事が、第一の問題の樣に思はれます。若し〳〵利己の目的の爲に活動して居るものならば、それは丁度少さな火鉢に手を暖めて、大いなる太陽―熱と光と喜びとを與へる太陽ある事を忘れて居る樣なものになります。

「サー、キアラハッド」の話に依つて見ても、よく判る事です。彼れが、聖盞を搜ねて旅から旅へと進む道には、何の困難も苦痛も消え、如何なる强敵にも打勝つて、其目的へと近づきました。アーサー王に扈從した多くの騎士の中、唯此人だけが、彼の非凡の實物、聖盞を目擊する事が出來たのですが、そ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

れはいふ迄も無く、彼に唯一つの目的あつて、他を忘れたが爲てあつたのです。世俗一般の野心の如きものは、此騎士に取つては何の價値も無く、生涯をかけて誓ひ求めた其寶の他は、彼の眼に映ずるものも無かつたのでした。然し是れを思ひます時に、自然と私共の心に浮ぶ問は、「何の助けを以てサー、キアラハッドは其一生の目的を遂げる事が出來たか」といふ事です。是れに對しては、テニソンが、其詩の中に説明して、「我劍、人を斬り、我槍人を斃す。我力、十人に優れたり。是れ我心淸きによれり。」と申してあります。此樣な力、是れが、私共が人生の戰に最必要とするのではありますまいか。言を換へていへば、凡て何事をするにも、志を一つにする、眞理のためにのみ働いて、利己の爲ては無いといふところに非常な力と强さとを生じて來るのです。

一體、私共の精神的生活と外面に表はれる動作とが、どれ程迄に密接な關係があるものかといふ事はあまり人の考へて見ない事です。或人のいつた言に、「人の內的生活は即ち其人である」といふのがありますが、實に、其通りで、心の中の働きと外面に表はれる動作とは、やがて同一のもので、決して別々に

分類する事は出來ませむ。さうすると私共が、內々て、心の中に考へて居る事を、悉く人の中に擴げて見せても恥しくない樣な考ばかりを持つて居る樣に力めねばならぬといふ事になります。どうせ、人間は晩かれ早かれ、何時かしら其思索の中の中までを他人に見せて居るのです。譬へ自分達が如何程蔽ひ隱さうとしても、私達の起居動作、日常の生活がそれを悉く發表して居るので、其證據には人々の顏を見るのが一番早道です。唯顏に現れた點だけで、人の性質は大體定める事が出來ませう。不平に滿ちた友達は大抵其顏色で窺ふ事が出來ますし、惡心を隱し汚れた情を隱して居る人は通りすがりにでも、直に指摘する事が出來ます。何の深い考も無いといふ人はまた其通り、顏に明瞭と表はれて居るのです。約翰默示錄の最終の章の中に、神を知り、神を信ずる後世の美はしい社會の事が畫いてあつて、「僕ども、これに事へむ。僕ども神の面を見、神の名、彼等の額にある可し。」とありますが、是を今の世の人に見ますと、神の御名の代りに其額に書き付けてあるものは、人々を支配して居る感情です。中には、不平不滿を額に表はして居る人もあり、或は喜悅幸

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

福に溢れて居る人もあります。此喜悦に溢れた顏にして、始めて美くしい輝いた顏といふ事が出來ませう。又此樣に幸福に、自己を忘れて生きて居る人にして始めて淸い生涯を送る事も出來ます。

是に關聯して考へられます事は、讀み物と性格との關係です。誰にしても多少の忙しさはあり、從つて凡ての出版物を悉く讀む餘暇はありませむ。其處で第一に考ふ可き事は、高い趣味を養成するといふ事です。更に高い、面白いものゝある事を氣付かない中は、つまらない小說でも讀むで樂しむかも知れませむ。譬へば劣情を動かす樣なものを讀み續けて飽きる事を知らぬ者もありませう。此等の人は知らず〲の中に其心迄も汚されて、其種のものでなければ遂には面白味を感じない樣な事にもなります。さうなつたが最後、其人の想と情とは全く濁つて終つて、眞の人生の源泉に觸れる事は出來なくなります。此世の中で、眞に人を感動させる力あるものは決して劣情では無くて、惡と戰つて是に打勝ち劣情を抑えて超然たるに至る其處にあるので一人でも此種の勇者が在つた爲に、それだけ世の中が進步したといふならば、其處に眞の價値は見えるのです。それですから、嚴しい意味でいへば人生は即ち勝利であつて、失敗ではありませむ。人生は精神の生活でありて動物的の肉體の生活ではありませむ。人間の肉體生活の最下等を寫したものを讀むよりは、畜類の生活の最も甚だしい有樣を書いたのを讀む方が遙によいと言はれませう。若し人間にして向上生活をのみ想ふて此世を送つたならば、どれ程、高い思想が湧いて來る事でせうか。非常なる高地に登つた經驗のある人には誰にでも分る事ですが、其澄み切つた高地の空氣を吸つて、塵を離れた心持は、まことに神に近づいた樣な一種の意識を感じますものです。

精神の淸らかなといふ事は吾々誰でも最も深く考へる可き事です。低い處に眼をつけて、つまらぬ事に齷齪し、利己の爲に日を暮すのが私共の一生の仕事ではありませむ。少くとも自分が此世に出たが爲に幾分の助けを世に殘さうといふならば、サギ、アーラハットの心掛けて、終局の目的の爲に、猛進しなければなりませむ。さうして此意味で眞面目に考へた時に始めて心を淸くするの必要と責任とを感じて來る即ち、我等一個の改善の爲ばかりで無く、社會一般の進步の爲には一人〲の者が、志を淸うする

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

必要のある事は明かてす。使徒ポールが、其友に送つた手紙（腓立比人書、第四章、第八節）の中に、兄弟よ、終りに我是れを言はむ。凡そ眞實なる事、凡そ敬ふ可き事、凡そ公義事、凡そ潔き事、凡そ愛す可き事、凡そ善稱ある事、凡て如何なる德、如何なる譽れにても、汝等、是れを念ふ可し。」と見えてあります。眞に心の清いものは神を見る事の出來る幸いなものといはなければなりませむ。

聖アウガスチンが嘗て問ふて曰はく、「この世に於て最も幸福なる者は何人ぞ、思ふにそは凡て欲するものを有する人にあらざるべきか」と、その母モニカは直ちに之れに答へて「否とよ、そは當らざる事なり、先づ其の人の欲するものが善なりや惡なりやを見分けざるべからず、何となれば善を欲し、善を有する人のみ誠に幸福といふべくして、惡しき事を欲し、惡しき事を有すれば、そは必ず不幸の人なるべければなり」と。アウガスチンは大に感歎して、「あゝ母上よ、母上こそ哲學の奧深き眞理には達したまひたれ」と。

感話

受洗の後

廣岡淺子

第一信

御寒さ嚴しく候へ共いよ〳〵御清榮の御事と御喜び申候。扨過る二十四日午前十時、無滯受洗いたし候。更生の淺子は一層社會の爲、神の福音を弘むる責任を自覺致し、殘る生涯は靈肉ともに神に任し奉る決心にて、萬事安心致し候。其の當日の實況を左にあら〳〵申上候。

例年クリスマスの洗禮は日曜學校の靑年男女に限り候事とて、當日も受洗者十名の內九名は十三四歲より十八九歲迄の靑年男女にて候ひし。私は殊更らにこの子どもの中に入れて戴くやう御願ひ致し候。九時三十分に會堂に參り、十時に洗禮式初り、式終りて宮川師は九人の靑年の爲め祈禱あり、次て私の爲更に祈禱せられ候。

「聖なる父よ、此中の一人の老婦は、我國維新の際

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

種々なる困難を一身に荷ひ、家政の爲、將た國家事業の爲、苦心奮闘を續け、晩年に至り、同性の向上發展を促さん爲め非常に盡力を致しました。然れども是れ物質上の事にして、靈の生命の添ひ難きを悟り、齡六十、多くの人は碌々として退隱爲すべき時に當り、老婦は奮然起て神の道を學び、殘る生涯を神に捧る決心を爲し、則今日爰にバプテスマを授け給ひし事を、誠に有り難く感謝し奉る。どうぞ主よ、此老婦の前途誤ちなく、世の爲、人の爲に盡し得る力を與へ給はん事を、尊きイエス、キリストの御名の爲に只管に希ひ奉る。アーメン」

と、淸らかなる祈禱の聲は堂に響き、神の御前に在るを深く知り、云ひ知れぬ感に打たれ申候。右終りて更に說教「祈禱の意義」と題してお咄に相成候。此說敎は何れ寫を得て、御目にかける事に致すべく候。吳々も女子が覺醒する事は急務中の急務に御座候間、折角御修養御勉學相成候て、聊かにても眞の結合の團體を御營み相成度希ひ上候

第二信

……神に祈りて御修養を御續けに相成候はゞ智識も思想も自からに加り申すべく、偉大なる力神より與へらるゝ事と確信罷存候、……小子病氣は自分の心持は最早何等相障もこれなき樣存じ候得共、未だ全快とまでには行かぬ由にて、此寒中は最靜養の必要御座候やう醫師の注意により、外出を見合せ、靜養罷存候。大阪に歸りてより受洗の時敎會に參りしのみにて、何れにも外出致さず候。是れ則神の命じ給ふ所と存候。受洗後直に例の私の過度の熱情にて、所々に運動を試み候はゞ、或は失敗に失敗を生ずる事なしとも計られず、夫れを更生後更に愼重に修養せよとの神の敎と存じ、日々私の居間にて讀書と祈禱とを熱心に相務め、修養と靜養に餘念なく暮し居候。三月中旬にも相成候はゞ、身心ともに、全く善良に至り申すべく、其上は神のしもめとして、同性の爲め盡し度きものと相樂しみ居候。宮川先生は月曜日毎にお出て下され、外、奥さん連中五六人も御出にて、御講話を承り居候。御尋ねの私受洗に就ての所感、左に認め候。文章を調へ居候ては、とても間に合ひ不申と存じ候間、只心の感じの儘を相弁べ置候。宜敷御取捨願上候。

* * * * *

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

余の受洗に就て

先き頃本誌上にも發表致しましたやうに、私は幼少の時から男子の爲すべき學問や諸藝を好みました。同時に我が國の男尊女卑の習慣に就ては、如何にも不道理であると慨嘆致して居りました。十七歳で廣岡家に嫁しまして、間もなく維新の變革に遭遇いたし、當時大阪の大家は多數破產の非運に陷り、廣岡家も亦その數に洩れませんでした。時に私は境遇上已むを得ず家政改革を双肩に荷ひ、男子を率ゐて事業界に身を投じ、東奔西走苦心奮闘を續けました事二十有余年、其の間に我が國の發展を計るには、どうしても我が同性の覺醒の大切なる事を深く感じ、我が事業半ばなりしにも係らず、婦人會、女學校等に微力を傾注致しました事約十五年であります。

熟々過去四十年の事業の成績を鑑る時は、形式上聊か見るべきものはありませうが、自分の理想から考へては、實に物足らぬ事甚だしき感があります。夫れは女子の發達が如何にも遲々として、社會改善の任に當る勇氣に乏しく、未だ男子に盲從する域より脫し得ざる爲め、男子の放縱の一事さへも、制裁するの力がないのであります。爲めに彌男子は淫猥を恣にし、刄を以てせざるも精神的に女子を慘殺しつゝある者、實に幾千萬なるを知らず、しかも倘人たり、國民たる自覺なき女子は、只我が一身の虛榮を貪らんが爲め、下劣たる男子に媚びて、その我儘、墮落を助けつゝある有樣であります。偶々高等敎育ある婦人にして、表面國家の爲め、他人の爲めに盡力するが如きも、之れ他人を梯子にして、自己の名利を恣にせんとの他に非ず、故に一朝自分より勝れる者に遇へば、共に手を携ふるどころか、却つて是れを排斥して、只々己れの勢力、野心を恣にせん事に汲々たる有樣であります。かやうな婦人界を如何にして改善し、いかにして向上せしめたならばよいかと、非常に頭を惱ましました。遂にこれは深奧なる宗敎に依り、人間の本源を淸め、更生を計らなければ決してその改善、向上の能はざる事を深く感じました。而してこれを人にのみ求めて居る事は間違ひであると氣付きました。是れ迄私は若い方々に向つて「私は女としては特種な境遇を通つて來たのだから、從つて婦人としての缺點が澤山ある。どうか私を見習らはずに立派になつてくれ」と申し

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ては、いつも自分を例外に於て人を導かうと思ひました。然しこれではとても人を導く事が出來ない。キリストの申されたやうに「われを見よ」と云ふ事が出來る人間にならなければならないと感じ、先づ自ら靈的生命を求めやうと冀つたのであります。時に私は六十歳の遷暦の齢を迎へたのであります。それ故今新らたに幼兒に立ち歸り、三年を期して基督教に就て學んだならば、少しはその教へに就て知る事が出來やうと、宮川牧師につき宗教の講話を伺ふことに致しました。然し私の頭は理屈ぽい方ですから、どうか哲學上から見た宗教に就てお話下さいとお願ひし、十回程伺ふ中に、どうしても人間の更生は、基督教に依らなければ出來ないと云ふ事が判りました。殊に婦人の發展を計り、その地位の向上を計るには、基督教に依るの外なしと知るに至りました。御承知の通り、儒教では「女子と小人とは養ひ難し」と申し、佛教では「蛇を見るとも女人を見る勿れ」と申して、何れも女子を度外視して居るのであります。神の前には男子も女子も同じくその愛子であるといふクリストの教へは、實に女子をして無限に向上、發展せしむる事が出來るものであると感じました。殊に神の前に高潔なる一男一女が相結んで夫婦となり、その夫婦の營む家庭が國家の基礎となるに及んで、此の社會の腐敗は眞に一掃さるゝのであると信ずるに及び基督教によりて救ひを求むるの念は愈々強くなりました。爾後聖書を學び、説教を承る毎に愈々その教への深遠なるを知り、靈的修養の妙味を養ふに至りました、殊に昨夏輕井澤に於て聖書を研究し、朝夕の祈禱を試みまして、多大なる神の恩惠に浴しました。そして「求めよ、然ば與へられ、尋ねよ、然ば遇ひ、門を叩けよ、さらば開かれん」との神の約束の僞りならざるを實驗致しました。其後九月中旬東京に參り、なほその修養を怠らなかつたのでありましたが、一日友と圍碁を弄んだ所、不思議にも輕井澤にて經驗せる全く神の御前に在るが如き深き祈禱が出來なくなつたのであります。折節山室軍平氏に面會し、この經驗をお話すると、同氏は圍碁の遊びが惡いのではないが、然し目下求むる最大事を思はゞ、決して圍碁を弄する暇はない筈であるとて、眞率なる忠告を與へられ、なほ高潔なる神の教へを説かれました。是は私に取つて生涯忘られぬ神の教へと思ひました。然るに圖

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

らずも其夜より自分は病に犯され、續いて腎臟炎に罹り、少しの活動も出來なくなりました。丁度其際宮川牧師が傳道の爲め、上京の序を以て、私の病床を訪問されましたので病中の實驗を御話致しました。然るに宮川牧師も亦其れに付て、私の將來の爲めに忠告、注意等を心より與へられました、上述の言は、全く貴き神の聖意の兩氏を通して私に與へられた事と確信致しました。而して私の這回の病氣は、更生即ち舊淺子が死して新らしき人格を造り出したので有る事を自覺し、更生の印としてバプテスマを受け愈々神の聖名に入るの決心を強くしました。そこで昨冬クリスマスを卜して、受洗致しました次第です。然しこれは神の敎の入門式であります。これより彌靈的修養を怠らざる樣務めまして、クリスチヤンとして耻ぬ人格を養成せねばならぬと存じて居ります。愛する先輩の姉妹方よ、我々の責任は實に重、且つ大てあります。將來相互に手を携へて、心を謙遜にし、誤りを正し、只管基督の御足の跡を辿り、只善事を口にするのみならず、これを行ひに現はし、最高の人格に達せん事を誓ひ度いと存じます。叉愛する後輩の姉妹方よ、どうぞ神の敎を眞面目に研究し、勇氣を振起して、斯敎の門に入る事を決行なされ、而して一日も早く暗きを捨てゝ、光りを歩み、神より與へられた靈をその光りによりて淸く、高く導き、なほわが受けたる惠みを隣人に頒つて、光輝ある社會を一日も早く成立致す事が出來るやう共に力を致されん事を切に祈つて止まぬのであります。

さる一大哲學者の嘗て謂ふところを聞くに、凡そ人間の宗敎的情念といふものは、或人のいふたやうに決して見るべからざる自然力を迷信的に畏怖するのに基くものではなくして、全く宇宙の無限なるに對し、自己の有限なることを自覺するのに出づるものであるといふことである。而して此自覺するや、人が到底之を消すことが出來ないのみか、却つて其知見の開展するに從つて、益々明確に感得せらるゝ者である、是れは恐怖とか、迷信とかに由來する者ではなくして、吾人が有限なる能力を持つ有限者であつて而も無限者の前に立つて居る者であると認識する其事實に基くのである、吾人は常に人間本來の理想に愜はざることが多い。故に吾人は一毫の罪咎も無い主基督に對つて其慰藉を仰ぎ求むるのである。

――ブライアン氏

聖書研究

耶蘇の說きし救(一)

柏井生

(一)多方面なる事實

『人の子は喪はれし者を尋ねて救はん爲に來れり』と基督の自ら宣言せられた如く、彼が一代の事業は人を救ふを以て目的とせられた。カナの婚禮の席上て奇跡を行ひ人の困つて居るを救はれたことから始まつて、十字架に死なれたことに至るまで、事々人を救ふたのでないものはない。山の上の說教の如き專ら倫理道德を說かれた如く見ゆる所であつても、其の根底には救の教が橫はつて居るのである。然るに茲に不思議な事は、耶蘇の言のうちに救と云ふ文字の稀なことである。馬可五〇三十四、十〇五十二、路六〇九、八〇四十八、五十に『なんぢを救へり』とあるのは、病氣が癒えたと云ふ意味であつて、靈魂の救を云ふのではない。故に改正英譯の聖書には『健にする』made whole と譯してある。このやうな意味でなく靈の救と云ふ意味では路加十九〇六、約翰四〇二十二、路加十九〇十、馬太十三〇十一に見ゆるばかりである。救と云ふことは多方面で活ける事實であるからただ言で意味を盡すことが出來ぬ。それ故基督は、或は罪を赦さるゝとか、神の國に入るとか、神の子となるとか、其の各方面に就きて具體的に說かれて居る。これ等を綜合すれば救と云ふ活ける事實が出來て來るのである。救と云ふは形式的のものでない。生活の救であり又靈魂の救である。次て其の要素を順次に說明して行こう。

(二)罪

救と云ふ事實が成り立ち得る基礎が少くとも三つある。第一は神の性質である。神は愛の補であつて一人の亡ぶるをも好みたまはず(馬太十八〇十四)、一人の人が悔ひ改むるならば天に大なる喜がある。神に人を救はんと欲する御心があることこれが救の有り得る第一の基礎である。第二は人が之から救ひ出されねばならぬ罪があると云ふ事である。第三は人に救はるゝだけの價値があると云ふことである。こゝには先づ罪の事を考へて見たい。耶蘇は罪とはどのやうなもので何處から來たと云ふやうな理論學

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

説を述べられたことはない。むしろ現在の事實に就いて罪を指し示された。

耶蘇は罪と云ふものは誰にもあるものであつて普く人類に行き亙つて居ることを認められた。『健なるものは醫者の助を借らず』と云はれたことはあるけれども、あれは一種の反語で、救ふ必要のないほど義しい人があると云ふ譯ではない。何となれば彼が一般の人の則るべき型として敎へられた祈禱のうちにも『我等の罪を赦したまへ』と祈ることを敎へられ、又馬太七〇十一に『汝等惡しきものながら善き賜を其の子に與ふるを知る』と云ふ言がある。罪にもいろ／＼種類がある。耶蘇は不品行不潔の罪を惡まれた、『右の目汝を罪に落とせば抉き出して之を捨てよ』と云はれたほどである。然し彼は僞善、高慢、無慈悲、人を判き人を赦さぬやうな罪を一層深く惡まれた、不義をした婦人よりも、此の婦人を曳き來つて耶蘇を陷れる機會を見出さうとしたパリサイ人の罪を一層深く憎まれて『汝等の中罪なき者先づ此の婦を石にて打つべし』と云はれた話が約八章の始に出て居る。又馬太二十五〇三十一以下には未來の裁判の話が出て居るが、これは未來の裁判は此のやうなものであると云ふことを敎へる爲でなく、目的は別にあるのであるが、彼處でも裁判の標準は何を以てするかと云へば、愛があるか否と云ふ一點に歸する。愛は道德の極致であるからこの愛のないのは罪の大なるものである。それから基督は、神に對する罪と人に對する罪とを區別せられなかつた。路加十五章にある放蕩息子の譬話のうちに放蕩息子が父に詫びる語に『我れ天と汝の前に罪を犯したれば』云々とある。又『最と小きものになさざるは即ち我になさざるなり』（馬太二十五〇四十五）と云はれた。人に對して罪を犯すは即ち神に對して罪を犯す所以であつて此れは人だけに對する罪で神に對しては罪とならぬと云ふやうな罪はない。此の事は非常に關係の大なる事てなつて、世のなかには一面には人に無慈悲な事をしながら神に媚びて幸福を祈ると云ふやうなことが多いが、基督の敎にはこれあるを許さぬ。

又耶蘇は現在の有樣のみならず、將來の事を計算に加へて罪の大小を定める。其の人が今は惡い所があつても善き事聖き事に觸れ得る機會があり、又それなら先々善き方に進む見込があるならば罪の輕め

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

らるべき理由があるが、之に反して今は善い人のやうであつても一層善くなる道を杜ぎ聖き力のはいつて來る機會を棄つるものは其處に輕からぬ罪があるのである。耶蘇は聖靈を瀆す罪は赦されぬと説かれた(馬可三〇二十九)、これは嚴な言であつて充分には解らぬが、思ふに聖靈は神から善き事が人の心にはいつて來る道である。好んでこの聖靈に反抗し之を杜絶するものは、罪の赦さるる事の成り立つ見込がないと云ふ事も其の一の譯であらうと信ずる。

耶蘇は又怠りの罪を警められた、神の國の精神は一面謙遜であるとともに一面努力である。謙遜の反對の高慢頑固が罪である如く、努力奮勵の反對の怠慢は罪である。主人から托せられた金を活用せず手巾に包んて地に隱して置いた僕は『悪しく且つ怠れる僕』と云ふ叱責を受けた。基督の精神は向上である。向上せずんば墮落する。

其れから罪の譬喩であるが、耶蘇は罪を病にたとへられたこともあるが、より多く屢々負債にたとへられた。『我等の罪を赦したまへ』と云ふ所が馬太五〇十二には『我等の負債を赦したまへ』となつて居る。其の外馬太十八〇二十三以下、路加七〇四十一以下にも負債を免する譬喩がある。負債が罪の譬喩として適して居る點が二ある。一は負債は病氣よりも責任と云ふ意味が强い。一は病氣は忽ちに直ると云ふことはあまりないことであるけれども借金は拂ひさへすれば、又人が代つて拂つてくるれば忽ち無くなるのである。罪も亦忽ち赦れて潔白なる身となることが出來る。然して負債が人の重荷となり人を苦しむると同しく、罪も亦靈魂の重荷となり人を萎薇せしむる。

(三)救の方法

耶蘇が由て以て人を罪から救はれた方法の第一は彼の言てある、敎てある。耶蘇の與ふる救は魔術でない。罪の恐るべき事、神の恩ある事を知らし其の靈魂に光を與へて之を生命の道に導くのである。彼の祈のうちにも『汝の眞理をもて彼等を潔め給へ汝の言は眞理なり』とある(約十七〇十七)。パウロも『信仰は聞くより出て聞く所は神の言に由るなり』(羅馬書十〇十七)と云つて居る。ペテロも『汝等が再び生るるは朽つべき種に由に非ず朽つべからざる種即ち窮なく存つ神の活る道に由るなり』(彼前一〇二十三)と云ひ、又『今生れし嬰兒の乳を慕ふ如く

汝等心を養ふ眞の乳を慕ふべし此に由りて汝等長ちて救に至らん』(同二〇二)と云つて居る。聖書に傳へられた基督の言を良く味ふことは救を得る一の大なる道である。

第二の方法は奇跡であつた。耶蘇の行はれた奇跡は盡く愛の表現である。彼は己の力を示すために奇跡を行はれたのではない、又奇跡を見て信ずる信仰を尊まれなかつた。奇跡は證據でなく救の一部分其の表現である。奇跡は何を示すか。第一は耶蘇が人の肉體の病を癒し給ふたのは靈魂の病を癒す力あることを表すのである。第二は彼は個々の人を救ふことを示す、衞生演説は幾千幾百の人に一度に聞かすることが出來るが、醫者が病を癒やすには一人一人の脈を診つて藥を投じなければならぬ。耶蘇の教訓だけでは、一人一人と云ふ事が良く現れぬが、病を癒した事に由つて其の事が明にせられた。第三は救は全身の救であると云ふことがわかる。最も大切なものは靈魂の救であるが、しかし靈は全身を支配するものであるから心が全く救を得た曉には、精神のみならず一切の事に新しい生命が加はり力がはいつて來るのである。奇跡と云ふことは基督の在世せられた時分と今日とは大分事情が違ふのであるが、奇跡によりて現はれた精神と力とは今日と雖も昔にかはることがない。奇跡を信ずることの出來ぬやうでは救はるることは難い、ここが今日我等に欠けて居る所である。

最後に又最も大切なるは、耶蘇を信ずる信仰である。これは次回に詳かに述べることにしたい。

吾人は父てふ語に、多大の意義を附し過ぐること決してあるなし。此語は基督教的神性の總體にして、又たその骨髓なり、こは此語の自然的意義を精神化したるよりも遙に大なり。十字架を以て此語を解釋する鍵となし來れば、こは全く超自然的意義を帶ぶるに至る、此語の意義を淺薄にするこそ、寧ろ吾人が常に陷り易き弊に非ずや。この意義の十分に發揮せられたるは、古往今來唯だ一回あるのみ。こは「父よ彼等を赦し給へ」てふ、基督の信仰と事業とに顯れたり。「父よ」是れ基督の信仰なり。「彼等を赦し給へ」是れ基督の事業なり。神的父格の眞髓は聖性によれる赦罪にあり。此に至りて始めて福音的なりといふをうべし。これ聖性に對する犧牲に由りて、罪惡に處する恩寵の事柄にして、人に對する服役に由りて必要に應ずる愛の事柄以上に屬す。――フオルサイス博士

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

人の惡癖を矯めし友の經驗

三四子

或る土曜の夕ぐれ思ひがけなく數年相見ざりし友の來訪に遇ふ。二人は級こそ違へ、同じ寄宿舍に起き臥した親しみがあるのである。友は卒業後間もなく郷里の宗教家に嫁がれて、〇〇の山の奥に、夫の事業を助くる傍、或時は女學校に教鞭を執られた事もある。私は何よりも友のしんみりとした、落付きの出來たのを尊く打まもられた。その堅實に積まれた經驗が、おだやかに語り出されるのを聞いて居ると、喧閙な社會を遠く離れて、靜かな自然に圍まれ、急せらず、驕らず、人生を深く味ひつゝ過して居る友の平生がまのあたりに浮んで、心地がすがすがしう覺えました。歸られた後に私は伺つた經驗をどうか皆樣にお頒ちしたい樣に思はれて、心に殘つた所を記して見たのが次のものです。丁度その日私は寄宿舍の舍監をして居る他の一友から、悲しむべき癖を持つた生徒の處置に就て相談を受けて居りましたので、自然その問題を解くに就ての參考となるやうな事が集められて居ると、後で讀んで思はれました。「親は年經りや、不具の子なりや、人でなしなら猶更らに」と申す親心に増さるとも劣るまじき人の師の心遣ひを深く思ひ、同じ心遣ひにある人々の參考になる事があれば幸であると存じました。これからが友の話です。

* * * *

夫が布教の爲め全國を巡つて居る間、私は郷里から少し離れた某市の女學校に奉職して居りました。自分の教へ子が一人でも失はれるといふのは、何物にも代へ難い悲しみて御座います。そしてその失はれる始めは、ほんの一寸した不注意が原因となると思へば、教師の心遣ひも疎かでは御座いません。私は道を誤つた子供に就ていろいろ調らべて見ましたが、何よりも居場所の不注意から起る事が一番多い樣です。餘り敬ひ過ぎて、御無理御尤で通す家、例へばもとその子供の家に使はれて居つた者の家と申すやうな處、また餘り嚴格過ぎて冷たい家とか、不しだらで取締りがつかぬ家とか、さういふ家に居る

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

者がえて間違ひ易いものだと思はれました。私はどうしてもほんとうの教育をするのには、その子供と起臥を共にして居なければならない。從つて寮舍教育といふ事が一番大切であると思ひまして、先づ一人の生徒を預つて見ました處、その後諸所から頼まれて、十人計りを預る事となりました。私も他人と思はずに、子供がお米を磨げば、私は竈の下をたき付け、お菜の足りない時は分けて頂くといふ樣にしましたので、生徒もほんとの家の樣に思つてくれ、誠に樂しい家族で御座いました。この子供達を皆卒業させる迄、その女學校に居りましたが。丁度夫も家に歸つて參つたので、私も職をひいて家に歸る事になりました。その時の子供達は他人とは思はれませんが、先方でも親類か何ぞの樣に思つて、今でも泊りがけに遊びに參ります。

○

奉職して居る間は隨分失敗勝ちでした。一度等は學校の模範生と云はれ、級でも級長を務めさせて居る子が、免狀式の前日あさましい事をして居たのを私が見出して、ほんとに一晩で白髮になると申すのはこんな時であらうと思はれる迄心配致しました。

この子供は級長といふので、級のお金を○○圓計り預けて置いたのです。すると子供心でせうか、リボンよ、手帳よと云つて、後で返さうと思ひ乍ら手許のものを出して遣つたといふので、卒業と云ふ間際にその金が皆無くなつて居つたのです。明日はこの子供が總代になつて免狀を取る筈であるが、そんな品性の子供を級の總代として免狀を取らしては、學校に對しても　他の子供に對しても、誠に濟まない。さればとてこの事を公にすれば、これから世の中に出やうとする子供の前途を塞いてしまうやうなものである。級長であると申しても、まだ年もゆかない子供にお金を預けた私が一番悪いのであるが、然し公にすれば、私がいくらわびたからとて、この子供の罪は決して世間で消してはくれない。どうしたらよいかと、人に相談する事もならず、獨り胸を痛めて居りました。子供は良心に迫められて青くなつて震へて居るのを見ると、私は八つ裂きにされるよりもつらく思はれました。今此處てこの子供の罪を公にして、自分も共に世間に詫る事は易いが、それで決してこの子供が改心するものとは思はれない、今の處どうしてもこの子供を生かす方法を考へ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

るのが一番である。顯はれたら萬事の咎は自分が着る迄てあると決心しました。然し私にはその時○○圓はおろか、一文のお金も持つて居ないのです。さればと云つて人に借りればその理由を話さなければならないので、とう〳〵有りもしない自分の着物を質入れして、その○○圓を拵らへたのです。そしてその子供を呼んで、萬事の罪は私が負つて、今日は許してやるが、今日の自身の苦しみや、私の心配を生涯忘れないて再びこんなあさましい事をしておくれてないとよく〳〵云ひ含めて、とうとうその事は表面事無く濟みました。よしこの子供に盜み心があるにせよ、必ず人から後指をさゝれて後悔する餘地のないよりは、かやうに處置した事がその子の爲めには一番よかつたらうと今でも思はれます。

○

よく〳〵私はこんな悲しい癖を持つた子に緣があると見えて、お耻しい話てすが、宅て貰つた子供の中にも一人そんなのが居りまして、隨分その矯正には骨を折りました。御承知の通り宅ては子供がないものてすから、近隣の不遇の家々から五人斗り子供を貰つて育てゝ居りました。その中て十三になる男の子て、大層物がよく出來て、お掃除でもよくすれば、一度云つた事は忘れないでやると申す子でしたが、或時この子供に私が手紙を入れさせますと、田舍の事てすから郵便局も懇意なものですから、「あなたの手紙に切手がない」と云つて、返へしてよこしたのです。それてその子供を呼んで、さつきの切手のお金はどうしたのかと申すと、最中を買つて食べて終つたと申すのです。主人はそれを聞いて、非常に怒つて、そんな子供は學校にやつておけないと申して、机から、本から、すつかり取上げたのです。然しその場は私が詫びて、再びこんなさもしい事をしておくれてない。欲しいものは買つて遣るから、決してあさましい心を出してはならないと云ひ聞かせて濟みましたのです。さうすると、また數日の後に何でしたか忘れましたが、またあさましい事をしたのです。今度は愈々許されないと云ふので、主人も私も親許へ返して終はうと思つたのです。そしてよく〳〵聞いて見ると、家に居つた頃から、さやうな癖を持つて居つた子てあるとの事てした。然しまた考へ直して、この子が自分の子であつたら、返へす事も出來ないのではないか、その上に家に返へし

たとて、この癖が直るものではない。もと〳〵私共も老後の頼りになどと思つてこの子を養つて居るのではないし、只自分の子を育てる代りに世間の人を一人でもよくするのが自分共の務めてあると思うて育てゝ居るのではないか、それならばこの子供が全くこの癖が直らない迄も、自分共の側に居つた爲めに、十度の誤ちが、五度に減り、五度のものが二度に減つたと云ふ丈けでも喜ばしい事てある。まだ自分共はこの子供に對する愛が足りなかつたのてあると思つて、もうどんな事があつても返へさないと決心したのてす。そして今度は全くその子供の心の中に入つて、その子供の慾望を、此方が先きに知るといふ程に心掛けたのてす。お菓子が慾しさうな時には程よくやり、紙鳶が欲しからうとか、鉛筆もどうなつて居るだらうとか、紙が盡きては居なからうとか、極く細く氣を配つて、不知不識の間に、何時もその子の心を此方て支配して居る樣にしたのてす。さうすると誠に嬉しい事には、段々と癖が直り、この一二年は殆どその癖が消えて參りましたのてす。行く先々の保證は出來ない迄も、それを矯めないで置くよりは、確かに爲めになつて居る事と存じます。

＊　＊　＊　＊　＊

私は話を聞きつゝ、天の使の言よりも、豫言するの能よりも、凡ての技藝學術の奥義に達する智識よりも、山を移す程の信仰よりも、わが所有は疎か、我が身を投じて水火に入る勇氣よりも、世界のあらゆるものにも增して大なる、尊きものは愛である、愛てあると二千年の昔キリストの仰せられた言を繰り返へさずには居られませんてした、誠に愛によりてはぐくまるゝ時、汚れし魂も、滅びし人の心も、新らしき生命の芽を萌して、その春秋に花も咲き、實も結んで、神の榮光を頌むる事が出來るのであるとつく〴〵と感じました。

會の消息

萬國學生祈禱日

來二月二十五日は、萬國の學生廣き同情を以て、學生間の問題につき、特に神の前に心を協せて、その解決を求めんが爲めに、祈禱する日と定められたり。左に基督敎青年會總幹事モット氏の送られたる趣意書を揭載して、わが會員諸氏も亦この日をその趣意に叶ふやう過されんことを希望す。

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

萬國學生祈禱日趣意書

敎育ある男女學生の社會に要求せらるゝ事、現代の如きは蓋し稀なり。彼等は常に國民の思想を導き、理想を示し、輿論を定むるの牛耳を執り、通商貿易の主權を握る等、實際社會と親密なる關係を有つ事、日に月に熾んならんとする勢を呈するに至れり。されば此等有爲の學生に對する我萬國學生基督敎青年會事業の任務の重大なるは云ふ迄もなき所にして、彼等をして能く基督の品性に化せる人物たらしめ、進んでは社會に正義を行ふの國民たらしめ、國際間には平和人道を施くの公人たらしむる事を勉めざる可からず。

我萬國學生基督敎青年會同盟委員は多年來繼續して成功せる計畫に基づき、特に二月最後の月曜日即ち二十五日を撰んで、萬國學生祈禱日と爲し、世界各國男女の學生相共に神に祈禱を捧げん事を望むもの也。

此日を有効に用ふるが爲め、先づ昨年中神より賜りたる天恩に對し、感謝の事由を摘記し、次に本年中神力の加はらんが爲めの祈禱の次目を揚げて參考に供せんとす。

感謝の事由

(一)昨年中四月土耳古國コンスタンチノーブル府に開かれたる萬國學生大會は、能く近來諸國の注意を喚起し、從來離間し居りたる各敎派を結合せしめ、共同事業を爲すの端緒を開くに至らしめたり。

(二)右大會の爲め集れる代表者達は近東にある重なる學生の中心地を訪問したるが爲めに、將來の事業に對する機會はこゝに展開せられたり。加之墺太利の學生運動は新に設けられ、又小亞細亞、及埃及バルカン半島に於ける學生青年會は頗る有望なる發達を見るに至れり。

(三)モット總幹事が端西國訪問をなしたる時、多數の學生は基督を信ずる事を告白するに至れり。尙本同盟は次第に外國より來れる多數の學生に對して一層の責任を感ずるに至れり。

(四)濠洲に於て外國傳道に對する興味一層深く成り、且つ學生の運動と平信徒の傳道事業の間に同盟が成立し、從て相互間の聲援之より愈々確實なるに至れり。

(五)一般學生界を通じて廣く社會問題の研究が著しき進歩を現はすに至れり、就中英吉利及亞米利加に於て顯著なるに至れり。

(六)エディ氏が東部亞細亞に巡回旅行を爲したる結果は、千人以上の求道者を與すに至れり。

(七)青年會指導者の養成に對する一般の注意は以前より増加するに至り、諸種の協議會に於て何れも斯業の中心の人物に在る事を認識するに至れり。尙今年は學生大會の始めて開かれたる以來二十五年目に

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

相當し、又北米學生有志運動も其齡二十五に達せる事も注目に値する事件也。

祈禱の條目

(一)東洋に於ける新たなる諸大學に於ける俗惡なる空氣、南亞米利加及歐大陸の特徴と云ふべき宗敎一切の禮典に對する反抗的態度、北亞米利加諸大陸に行はるゝ物質的傾向、及英吉利を初め或る國々の學生の中心地に見るべき一般の冷淡の風尙等は、靈的生命の發達に對し、基督敎事業の進捗に對し非常なる妨害をなすものと信ず。

(二)基督敎に對する意見の混沌たる有樣は學生を驅つて遂に信仰を求むるに至らしめたるものなり。今や一方に於て根底の動搖せるを思へば、他方には全然不信仰の狀態に在るが如き統一を欠けるの甚しきを見る。此際最も要せらるゝものは、學識あり、眞理に對する熱心なる信念あり。基督の感化を十分に受け、思想ある男女に對して基督敎の根本眞理を傳ふるに足る人物、換言すれば使徒の出でん事之れ也。

(三)社會各種の運動事業は各大學を通じて其解釋者、或は其豫言者を求めつゝあり、學生青年會は社會的奉仕、社會改良の方法に對し、幾多の機會中より共通路を發見する事を力めざるべからず。

(四)學生運動を指導する者は年若き有望なる青年時代に在る者より選ばざるべからず、而して指導者たる者は聰明にして祈禱の精神に燃え、基督に奉仕を爲す爲に人格的感化を用ゐる底の人物たらざるべからず。

萬國學生基督敎青年會同盟會委員長　カール、フリース
同　總幹事　ジョン、アール、モット

日本基督敎女子青年會

△青山女學院內女子青年會にては、前學期協議の結果、會員各一名につき每學期一錢宛本部に献金する事となり、先學期分として金壹圓十錢也を送附せられたり。この擧は單に金錢上にて本部の事業を助くるのみならず、支部各會員が本部の記憶を常に新らたにして、神の福音を傳ふべき貴き使命に向つて、絕えず祈禱を寄せらるゝたよりとなるべしと信じ、深く其の擧を感謝す。

△橫濱共立女學校青年會に於ては、明治の女子の發展を助けんとの趣意により、各會員、切り詰めたる學生の費用の中を更らに節約して、その購讀費を積み、既に每月十七部宛購買せらるゝ事となり、會長より每月その金子を纏めて、本部に送附せられつゝあり。其の厚志を深く謝し、併せてその期待に添はんことを希ふ。

△幹事ミス、カア昨年五月、半年を期し病氣靜養の爲め歸國の途に就きたるも、今回事情により辭任の止むを得ざるに至れり、代りとしてミス、レーガン

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

來朝の筈にて、既に先月下旬本國出發の旨の通知に接したれば、着京の日も遠からざるべし。

△總幹事ミス、マグドナルドは日本語學習の爲め、昨年十二月八日より群馬縣前橋市に趣き、今尙滯在中。多分二月十日頃歸京せらるべし。

東京基督教女子青年會

△十二月二十六日午後二時小石川小日向臺町新渡戸博士邸內に本會主催のクリスマス祝賀會を開く。委員長はミス、ワトネ本會會員並に聖書の組及納戸町、安藤坂兩寄宿舍より凡そ百五十名斗りの來會者あり。小橋三四子氏の今年のクリスマスを殊に意義深く迎へし理由に就きての感話あり、次て各聖書の組、兩寄宿舍のクリスマスの頌歌あり、委員諸氏より寄附せられたる茶菓を喫し、隨意遊戯に移りて、五時半頃散會せり。

△一月十七日(水曜)夕宗敎委員會を開く。二月二十五日の萬國學生祈禱日(趣意書別項記載)を如何に過すべきかにつき協議あり。當日は隨所に小さき集會を開き、その日を記憶して過すことゝし、その日に關する委員長として三谷民子氏を擧ぐ。

以下は前號掲載の筈にて、既に印刷所に廻したるも、紙面の都合にて見合せ、今回掲載の事となりたり。

●東京基督教女子青年會

△十二月十四日委員例會を、小室委員邸に於て開會、三宮委員長を始め、今西、川島、グリッフィン、小畑、コイビイ、テリイ、三谷、ボーフラワア、小室の委員諸氏、マシユウ、ワトニイ兩幹事諸氏の出席ありて。非常なる盛會なりき。開會に先ち三十分間ミス、ボーフラワアの司會にて祈禱あり。定刻三時半より三宮委員長の司會によりて、事務協議に移る。先づ今西寄宿舍委員長、寄宿舍の現狀に就ての報告あり、次て三谷宗敎委員長、十一月二十九日開催の宗敎委員會に就ての報告あり。現今東京基督敎女子青年會の企てになる聖書の組は兩寄宿舍に於けるものを除き十二組あり、百五十名の人々出席しつゝありとの報告あり。小室委員より去月中新らたに五名の維持會員、十一名の通常會員入會ありし旨報告あり。各委員熱心に會の自給の方法に就て語り合ひ、次回は二月二日ミス、ボーフラワーの宅にて開會の事に決して閉會。

なほウヰルミナ女學校女子青年會、札幌女子青年會、同志社女學校女子青年會十一月中の報告は紙面の都合にて省略いたし候間右あしからずお含みいたゞき度候

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

廣告

院長診察｛月、水、木、金、午前｝｛入院診斷後應需｝
松田、林、峰間、三副長は目下當院に在勤

東洋內科醫院

電話本局　八八八（病院用）　八九八（私宅用）

東京神田區駿河臺鈴木町二
御茶水橋附近

院長　醫學士　高田畊安

神奈川縣高座郡茅ヶ崎町相海濱
從停車場半里

南湖院

電チガサキ二番
河野、髙橋、兩副長は目下當院に在勤
院長診察、土曜日午後、入院、診後應需

部數	定價（郵稅共）	海外
一部	金五錢	金九錢
十二部	金五拾錢	金壹圓

廣告	
一頁	金六圓
半頁	金三圓五拾錢
半段	金貳圓
一行	金貳拾錢

明治四十五年一月廿八日印刷
明治四十五年二月一日發行

編輯兼發行人　東京市麴町區三番町四十一番地　エー、シー、マクドナルド
印刷人　東京市神田區美土代町二丁目一番地　島連太郎
印刷所　東京市神田區美土代町二丁目一番地　三秀舍

National Committee

Mrs. Hana Ibuka, Chairman
Dr. Kei Okami, Vice-Chairman
Miss Tami Mitani, Secretary
Dr. T. Inouye, Treasurer
Miss Michi Kawai, Member World's Committee And World's Student Christian Federation

Resident Members
Miss A. B. West
Miss Sumi Miyagawa,
Miss Hama Hirano
Mrs. Koharu Nakajima
Miss Uta Suzuki
Miss Sarah Ellis
Miss Matsu Okonogi.
Mrs. A. M. Fisher

Non-Resident Members
Miss K. Tristram, Osaka
Mrs. K. Araki, Osaka
Miss N. B. Gaines, Hiroshima
Mrs. Koito Saiki, Kyoto
Miss M.F. Denton, Kyoto
Miss Wynne-Willson, Nagoya.
Miss M. Brownlow, Hakodate.
Miss Worthington, Kure.

Miss A. C. Macdonald, General Secretary
Miss Margaret L. Matthew, Tokyo Secretary
Miss G. R. Watoney, Tokyo Secretary
Headquarters 41 Sanbancho, Kojimachi, Tokyo.
Miss Matsu Okonogi, Editor.

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

若き婦人の讀物

著者	書名	定價
フレエベル著 ハウ女史譯	人の教育	壹圓五拾錢 郵十二錢
ラモラウ著 ハウ女史譯	開發的生活	五十錢 郵無料
田村直臣著	廿世紀 日曜學校	七十錢 郵六錢
成瀬正弘著	西洋古今 名訓逸話集	四十錢 郵六錢
尾島眞治著	讃美歌説明	十五錢 郵四錢
毛利薫著	柊山のクリスマス	二十錢 郵四錢
大宮季貞著	犬の話	二十錢 郵四錢
高橋卯三郎著	家庭閑話	五十五錢 郵六錢
松村介石著	婦人の心得	上製卅五錢 並卅錢 郵四錢
田村直臣著	子供の權利	五十錢 郵六錢
内村鑑三著	貞操美談 路得記	十五錢 郵四錢
松井文彌著	信仰美談 丹波ヨブ	八錢 郵二錢
田中太郎譯	堅信美談 薄命兒	三十錢 郵四錢
野口復堂講	教談 忠孝の鑑	三十五錢 郵六錢
五來素川譯	宗教小説 未だ見ぬ親	六十五錢 郵八錢
藤川淡水著	バイブル御伽噺	五十錢 郵六錢
紫園山人著	少女日記 忘れな草	四十錢 郵六錢
松居松葉著	御伽草紙	三十錢 郵六錢
丹野ふさ譯	小説 若草	五十五錢 郵八錢
田村直臣著	母と子供	十五錢 郵二錢
吉野臥城著	小百合集	十五錢 郵無料
村田勤編	慈愛の涙	壹圓八十錢 郵十二錢
内崎作三郎著	人生と文學	八十錢 郵八錢
葛巻星淵著	詩集 野の聲	二十五錢 郵四錢
德富健次郎著	小説 黑潮	四十錢 郵六錢
佐藤直翁著	竹の舎集	壹圓 無料

京橋區尾張町
振替東京五五三
警醒社書店

明治四十五年二月一日納本發行（毎月一回一日發行）

明治三十七年五月七日第三種郵便物認可

YOUNG WOMEN OF JAPAN.

Meiji no Joshi

Volume. IX *February 1912.* *No. 2*

Sincerity. — **Miss Matsu Okonogi.**

The Holy Cup. — **Mr. T. Shirai.**

Purity. — **Miss Tetsu Yasui.**

One Who Can See God. — **Miss A. C. Macdonald.**

My Baptism. — **Mrs. Asa Hirooka.**

Salvation as Taught by Jesus Christ.
Mr. En Kashiwai.

The Result of Mv Friend's Efort.
Miss Miyo Kohashi.

Association Notes.

Call for the Observance of the Universal Day of Prayer for Students.
National Y.W.C.A.. Tokyc Y.W.C.A.

（東京神田美土代町 三秀舍印行）

The Official Organ of the National Committee of Young Women's Christian Associations of Japan

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA